

クラスの様子【3月号】

●ひよこ組 今月の目標 身の周りの簡単な事に自分で取り組もうとする。

先月は、年長組さんと散歩に出掛けたり、園庭や室内遊びを楽しみました。いつもと違う雰囲気に固まる子や泣きだしてしまう子もいましたが、お兄ちゃん・お姉ちゃんに靴下をはかせてもらったり、抱っこしてもらったり、優しく言葉をかけてもらう内に徐々に安心した様子で、表情が柔らかくなっていくのを感じました。今まではひよこ組だけの活動だったのが、場所も人も興味の対象が少しずつ広がり始め、子ども達がそれを楽しめるようになってきているのを感じました。そしてこの一年を振り返り、一人一人が自分のペースで大きく成長したのだなぁと嬉しく思います。今年度も残りわずかとなりました。来年度に向け皆で少しずつ準備をしながら、楽しく過ごしていきたいと思います。一年間ありがとうございました。(キム)



●りす組(もも) 今月の目標 遊びを通して、友だちとの関わりを深める。進級への期待を持つ。

2月の保育参加では、親子で触れ合い遊びや、普段楽しんでいる絵本の中から、子ども達がよくやり取りするようになった「いれて」「いいよ」「ありがとう」の言葉を使って親子で[てぶくろ]の劇遊びをしました。お家の人たちの温かい雰囲気の中で、普段通りの子どもたちの姿が見て頂けたと思います。子どもたちの沢山の笑顔、お家の方の優しい眼差しを、私たちも感じる事ができて良かったなと思いました。ありがとうございました。今はほとんどの子が自分のことは自分で出来るようになり、遊びの中でも、友だち同士でやり取りや、関わりを楽しめるようになってきました。うさぎ組への進級に向けて、いちごグループとの関わりやうさぎ組のお部屋に慣れるということが一番に、子どもたちが安心して進級することを楽しみに出来るように関わっていきたいと思っています。(澤井)



●りす組(いちご) 今月の目標 ひとつ大きくなる喜びを感じながら一日一日を楽しく過ごす。

2月8日の保育参加では親子でフォトフレームを作りました。お花紙を丸めたり、折り紙をちぎって貼り付けたり普段の保育でしてきたことを親子でしました。子どもたちも嬉しそうに温かい中での保育参加となりました。ご参加頂きありがとうございました。最近、ももグループとの交流をしています。初めはいちごグループ内の関わりが多かったのですが回数を重ねると、ももグループの友だちの名前を呼んで少しずつ関わりを持つようになってきました。散歩先で友だちに会うと「おーい！」と声をかけ、分かれてからは「おったなあ」と嬉しそうに話しています。4月から過ごしてきた仲間と一緒に過ごす安心感、仲間意識や絆を感じます。りすいちご組で過ごすのはあとわずかとなりましたが、ひとつ大きくなる喜びや嬉しさを感じながら残りの日々を楽しく、一日一日を大切に楽しく過ごしていきたいと思います。(谷口)



●赤うさぎ組 今月の目標 異年齢の友達と関わりながら、ゆっくりと新しい環境に慣れる。

2月に入り、白うさぎのお友だちと一緒に集まりをしたり、散歩に行ったりと少しずつ2歳児全員での活動を増やしていきました。今までの仲間とは違うメンバーとなり、始めは戸惑う姿もありましたが、名前を覚えて呼び合ったり、同じ玩具で遊んだりと関係の幅を広げていく姿がありました。また、異年齢クラスのお部屋にも遊びに行かせてもらい、そこでの生活に触れる機会も多くなりました。お兄ちゃん、お姉ちゃんが遊ぶ様子をじっと見て同じように遊んでみる姿があり、たくさんの刺激をうけて「楽しかった！」と笑顔で話す姿がありました。異年齢クラスの生活は今までとは環境が大きく違います。進級に向け、楽しみながらゆっくりと生活に馴染んでいける様に進めていきたいと思っています。(香月)



クラスの様子【3月号】

●白うさぎ組 今月の目標 異年齢の友だちと関わりながら、ゆっくりと新しい環境になれる。

今年度も残すところ1ヶ月となりました。日々の生活の中で、子どもたち一人ひとりの成長を感じます。おうちの方に手伝ってもらっていたことが、たくさん自分で出来るようになってきました。子どもたちのがんばりはもちろん、おうちの方のご協力があると思っています。ありがとうございました。現在は、進級に向けての活動を赤うさぎさんと共にしており、子ども子ども関係も深まってきました。お部屋でのコーナー遊びや、戸外活動の時には、名前を呼んだり、誘いあって仲良く遊ぶ微笑ましい姿が増えています。大きいクラスに入って生活をしていく時に、仲間の存在がきつと心強いものになると思っています。大きいクラスでの生活環境は、うさぎ組と異なる所もあるので今後も困ることのないように、丁寧に関わり、新しい生活を楽しみにしていきけるように過ごしていきたいと思っています。(伊達)



●年少組 今月の目標 身のまわりのことに気づき、自分で考えて行動する。

今年度も残りわずかとなりました。2月からは、進級に向けて年齢別での生活が始まり、年中さんになるのを心待ちにしている子どもたち。身なりを整えたり、身辺整理、お昼寝布団の片付けなど、自分のことは自分でしようと頑張る姿に4月からの成長を感じます。ひな祭り製作では、ハサミを使った製作にも取り組みました。ハサミを思い通りに動かすことがまだ難しく、苦戦していても「自分でやる!」と真剣な表情で取り組み、切り終わると「やっとうできた!」とうれしそうな表情を見せてくれる子どもたち。子どもたちの力を信じ、挑戦する姿を見守ることの大切さに改めて気づかされました。年少組のみんなと生活できるのも残り1ヶ月ですが、楽しく充実した時間を過ごせるようにしていきたいと思います。(真里亜)



●年中組 今月の目標 友達との関わり合いの中で進級への意識、意欲を高めていけるようにする。

年中さんだけの生活も始まり、「もうすぐ年長さん(ライオンさん)になるぞ!」という気持ちも高まってきたことが日々の生活の中で感じられるようになりました。うさぎ組やりす組のお友だちを見ると側に駆け寄り手伝おうとする子、優しく声を掛ける子など小さいお友だちに少しずつ自分から関わりにいける子も増えてきました。また、お友だちが困っていると「どうしたん?」「一緒にする?」と気かけられる子もおり、子どもたち同士で助け合う事が出来ている姿を見ると「大きくなったなあ」としみじみ思います。思いのぶつかりあいも同年齢だからこそ激しく、トラブルになることもあります。周りのお友だちに間に入ってもらい解決していける力もついてきました。年中さんで過ごすあと少しの時間をしっかり楽しみ、たくましく、そして優しいライオンさんに成長していけるように見守っていきたいと思います。(田中)



●年長組 今月の目標 残りの保育園生活を存分に楽しむ。就学への意識を高める。

ライオンぐみが保育園で生活する最後の1ヶ月となりました。4月に新年度がスタートしてからライオンぐみは普段の生活の中、行事でも本当によくがんばってくれ、年長児としてしっかりとながさわ保育園を引っ張って来てくれました。その一つ一つの経験がライオンぐみにとっても良い成長のきっかけになったと思います。この一年間で子ども達の成長はお父さん、お母さんにもしっかりと感じて頂けているのではないかと思います。我々保育士にとっても一年間共に生活してきた子どもたちの成長、変化はとても喜ばしく、そんな成長をそばで見守り続けられたことはとても幸せな事でした。ライオンぐみが保育園で生活する残り数週間の間には小学校就学を見据えた活動だけでなく、年齢別になってから始めた未満児クラスとの交流(お手伝い)に加え、学童との交流の時間を作っていければと考えています。小さな子や自分より年上の人、様々な人と触れ合う中で人を思いやる気持ちや態度、言葉遣いなど、“人と関わる力”を小学校就学までに少しでも多く身につけていけると良いなと思います。(安田)

